

再編内容

(1) 対象小学校3校を、先導的な学びを推進する1つの小学校に再編し、中央地区に設置します。

先導的な学びを推進する学校（福島第一小学校敷地内）

【対象】 現在の福島第一小学校・福島第四小学校・清明小学校の通学区域の児童

【特色】 子どもが主語となる授業を基盤に、中央地区全体を学びのフィールドにした探究学習を展開し、市内小学校を先導する学校を目指す。
安全を確保しつつ、学校図書館や家庭科室など、地域住民が利用できる施設（学社融合施設）を検討。

(2) 新たに、不登校児童生徒へのきめ細かな対応を行うため、多様な学びを実現する学校（学びの多様化学校）を、通学の利便性を考慮し中央地区に設置します。

多様な学びを実現する学校（福島第四小学校敷地内）

【対象】 市内全域（不登校および不登校傾向の児童生徒）

【特色】 一人ひとりのニーズに寄り添う教育を行う学校を目指す。敷地内の「夜間中学（天神スクール）」や「市総合教育センター」そして「地域」と連携した本市ならではの多様な学びを実践し、当該校での成果を全市に発信。

安全・安心な通学環境と学校・地域の未来づくり

・安全・安心な登下校の確保

公共交通機関（路線バス）の活用や、関係機関（警察・見守り隊等）との緊密な連携により安全な登下校体制を確保

・通学区域（学区）の弾力的な設定

既存の基本学区・自由学区を尊重しつつ、通学距離が延伸する児童には隣接校への通学の選択、進学先の中学校選択も弾力化へ

・放課後児童クラブ（学童）の一体整備

福島第一小学校の敷地内に設置、学校図書館等の利用を検討

・スクール・コミュニティと地域伝統の継承

学校運営協議会等を中心に据えた学校と地域との協働、各校が培ってきた歴史・伝統・地域行事は再編後も大切に継承

開校までのロードマップ

・開校目標年次

(1) 先導的な学びを推進する学校は、令和15年春の開校を目指す

(2) 多様な学びを実現する学校は、令和16年春の開校を目指す（ただし、既存施設等を活用し、前倒しする方策を検討）

・施設準備検討委員会（仮称）の設置

専門家や地域・保護者とともに、具体的な施設のあり方や、児童の安全第一のもと効果的な地域参画の仕組みを構築

・開校に向けた各種委員会の設置（開校約2年前～）

地域や保護者、専門家等と協議しながら、再編校の教育課程などを検討